

# 会 議 録

## 1 会 議 名

平成 20 年度 第 2 回 天水地域協議会

## 2 開催日時

平成 20 年 6 月 5 日（木） 午後 7 時

## 3 開催場所

天水総合支所 3 階会議室

## 4 出席者・欠席者

### 〈出席者〉

委 員：池尻昭正、野崎健志、小田昭子、川田洋子、池田武、岩見利美、平井百合  
上山隆幸、右田文昭、平野幸人、中山信春、楠本砂恵、藤川貴臣、中村亘  
事務局：池田天水総合支所長、坂本総務振興課長、中川総務振興課技術主任  
主管課：新幹線推進課 荒木課長、新幹線推進課、本島主任  
実績報告者：玉水・輝く里づくり委員会 3 名、草枕ドリーム委員会 2 名、上古閑室  
さがし委員会 4 名

### 〈欠席者〉

委 員：坂門功基

## 5 会議内容(公開)

### 議 事

- (1) 「新玉名駅」の概要について
- (2) 玉名 21 の星の事業の実績並びに進捗状況について
- (3) その他

## 6 議事の概略・協議結果

- (1) 「新玉名駅」の概要について  
新幹線推進課より説明、質疑応答
- (2) 玉名 21 の星の事業の実績並びに進捗状況について  
3 委員会の代表より実績並びに進捗状況の説明後、質疑応答
- (3) その他
  - ①公民館の改修について  
改修時期、改修場所について事務局より報告
  - ②春まつりの実施について  
平成 21 年度の開催について、秋の地域協議会までに各自検討してきてもらう。

## 7 会議資料

- (1) 会議次第
- (2) 「新玉名駅前広場基本レイアウト」他 5 枚（新幹線推進課より）
- (3) まちづくり計画概要【岱明・横島・天水】

**8 傍聴者の数**

0人

**9 非公開の理由**

—

**10 会議録の種類**

要点記録

**11 発言の内容**

**(副会長)**

みなさん、こんばんわ。お疲れさまでございます。

ただいまより、平成 20 年度第 2 回の天水地域協議会を開会いたします。

**(会長)**

改めまして、こんばんわ。本年度第 2 回目の地域協議会を開催しましたところ、委員の皆様方には大変ご多忙の中に、ご出席いただきましてありがとうございます。日頃から地域協議会委員として、まちづくりにご協力いただいていることに対しまして、重ねてお礼申し上げます。この地域協議会が、住民の皆様の声を集約いたしまして、行政とのパイプ役として機能していくことを期待しております。今日は、新幹線推進課にご出席願いまして新玉名駅の概要について説明をお願いしているところでございます。ご苦勞さまでございます。また、玉名 21 の星事業の実績並びに進捗状況を説明していただきまして、その後委員の皆様方の質問等、協議をしていきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。以上を持ちまして挨拶といたします。

**(事務局)**

それでは、玉名市地域自治区の設置等に関する条例第 12 条第 3 項により、会長が議長となることとなっておりますので、これより先は会長に議事の進行をお願いいたします。

**(会長)**

それでは、まず議事に入ります前に、議事録署名人を指名いたします。今回は野崎委員と楠本委員をお願いいたします。それでは、早速議事に入ります。1 番目の新玉名駅の概要について、新幹線推進課の方から説明をお願いします。

**【新幹線推進課より、新幹線の用地、駅舎、駅前広場等の整備計画について説明】**

(会長)

ただ今、詳しく周辺道路のほうまでご説明がございましたが、委員の皆様何か聞きたいことがあったら質問してください。

【 間 】

(会長)

あの、いいですかね。駅開業と同時に整備するのが4ヘクタールということですか。

(新幹線推進課)

全体が、35ヘクタールということですので、第1期で平成22年度末の新幹線の工事に合わせまして駅前広場の整備、次が約3ヘクタールほどありますが、こちらを28年から30年度で、それ以降に残りの部分をと、3段階の進め方となっております。

(会長)

地元の農産物とかは交流館が完成しないとわからないわけですよね。まだ時間があるわけですけど。

(新幹線推進課)

こちらの方で、交流センター（プラットホーム内）ということで申し上げたんですけども、これは当座の施設という捉え方をしております、そんなに広いスペースではないんですけども、この中にも地域の物産を展示したり販売したりする場は設けております。

(会長)

駅舎の中にですか。

(新幹線推進課)

いえ、これは駅舎とは別に市が造る施設です。

建物自体は400平方メートル。規模はちょっと小さいのですが、そちらの中にスペースはとっております。将来的には、こちらの大きい施設（図下）のほうが、より多くご利用いただけたと思います。

(副会長)

そこは、希望者が入れるのですか。

(新幹線推進課)

当座できますこの交流センターにつきましては、玉名の物産協会というのがございます。そちらに管理をお願いしたいということで、今、協議をしております、物産協会さんのほうを通じて、ご依頼があるかと思っております。この話は、まだ進行中です。

**(委員)**

八代駅が今ありますが、あそこの売店がどれくらいの広さかわかりませんが、今玉名は 400 平方メートルといわれましたが、八代ができてまだそうたっていないんですが、あそこを想像したときに、あれぐらいの同じようなスペースで、あれぐらいの物産の紹介だったら、今の八代駅の二の舞になるような気がして、とても心配します。それで、(図) 下のほうの交流施設にも文化財の触れない部分が入っているのかどうかということと、ほんとうに前倒しで交流施設ができないものか、最初のスタートがとても肝心なような気がします。八代の今の状況を見てみると、今聞いた中では、同じような結果になるのではないのでしょうか。駅前広場だけあって、駐車場だけあってという同じ状況になるのではないかなとお聞きしながら感じておりましたけれども、いかがなものでしょうか。

**(新幹線推進課)**

まず、八代市さんで現在、市で観光協会さんが運営されている施設は、規模はちょっと数字的には覚えていませんが、私どもの施設よりもかなり狭かったと思います。それが一つです。それと八代市さんの場合は、物産の展示はしているんですけども、販売ができないような補助金を使っておられるので、そのあたりについては、こちらからも勉強に行って、それでは困るということがございました。それともう一点は、新八代駅ができたときに、いわゆる駅を利用する方が降りても食べ物屋さんがないんですよ。それで、テントを張られて弁当を売っておられるなど、いろいろ工夫されたんですが、かなり批判がありました。従いまして、今度の駅舎の隣にできます施設の中については、軽飲食かもしれませんけど、なんらかの食べることができるような施設を入れていただきたいと思っています。それと、次の第 2 期の交流施設の部分ですけども、これにつきましては駅の利用の度合いを見てみることに、それから、バイパスがまだ全線開通しておりませんので、そのあたりの動向を見ながら検討をしていきたいと思っています。ただこの施設までは行政側で整備したいということで計画を立てております。前倒しというのは、なかなか事業計画の都合でできませんが、その点は計画に則って粛々と進めていきたいと思っています。

**(委員)**

それと、もう一つ。阿蘇の方のルートとか、そういったのがとても大事になってくるかと思いますが、ちょっとさっき触れたんですが、具体的に何年後ぐらいというような計画はできているのでしょうか。

**(新幹線推進課)**

ルートにつきましては、道路を整備するという方法が一つございます。あとは、いろいろな観光ルートの開拓ですとか、そういったソフトを充実させるという方法があります。道路につきましては、当然、市が行う事業ではありませんので、

県やそれぞれの地域の市町村にお願いして、阿蘇までのルートをつないでいくという形になるかと思います。それと、特にいろいろなソフトの部分につきましては、先ほどバスとかの話もしましたが、バスの中で、たとえば観光バスルートみたいなものが用意できないか等、そういったところも含めて各振興局、阿蘇、菊池、山鹿、玉名と4つあるんですけれども、それとそこにあります市町村に入っただいて協議ができた段階で下打ち合わせに入っていきたいと思いません。

(委員)

物産あたりは玉名市の主導でいくわけですか。どうでしょうか。

(新幹線推進課)

二つあると申したんですけれども、こちらの施設（駅前広場の物産館）のお話ということでしょうか。

(委員)

いえ、最初に入るほうです。

(新幹線推進課)

この駅舎の隣に当座設ける物産コーナーの件ですね。

(委員)

はい、それは玉名市の管轄ですか。

(新幹線推進課)

これは、玉名市でつくりますけれども運営は玉名市の物産協会にお願いしたいと思えます。

(委員)

協会に一任ということですか。

(新幹線推進課)

はい。

(委員)

そしたら、それが私達天水町あたりにも連絡等行き渡らない点があると思うのですが、あらゆる面ですね。今のところ旧玉名市が主導権を持っているような立場ですから、そのところを物産協会にもちゃんと言って、公平にしてもらわないと同じ玉名市民ですから、特に天水町、横島、岱明というところから離れるわけですから、同じ扱いをやってもらわないと、特定で情報が早いところが有利という状況がいろいろな面で見かけられるわけですよ。だから、そういうところが絶対ないように市の方でも物産協会の方にいろいろな働きかけをやってもらわないと、よそから入ってきたり、玉名市のあるのによそから入って展示したりというのが多いんですよ。今まで見てみて。あくまでも、玉名市の施設とするのであれば玉名市の発展のために、玉名市の物産でも青果物でも主導権が

握れるような形で、募集するときは末端まで通知をもらいたいと思うんですよ。

(新幹線推進課)

施設については、物産協会さんをお願いしたいということで、今、協議しております。まして、主管課を商工観光課がいたしておりますので、そのあたりについても伝えまして、広く市全域にお知らせするようにしたいと思います。

(委員)

私も、商工会員でして、昨日も商工会議所のほうで会議があったんですよ。それに入ってますので、情報は入るんですよ。しかし、個人的に入る情報より、やっぱり公に情報を流してもらったほうがいいです。やっぱり、私も出したかったねという人たちもたぶんいると思うんですよ。だから、今までそういったことが抜けてる場合があって、どうしても特定の人というふうになりがちですので、そこをお願いしたいと思います。

(新幹線推進課)

商工観光課にも十分ご意見を伝えまして、PRするようにしたいと思います。

(委員)

商工会でも結構ですよ。商工会は各々、横島も岱明も天水もありますから、どこにでも結構ですから流してもらって、こういう募集があるぞということですね。それで、流してしなかったらしょうがないことですが、全然情報が入らないで、後でそういうことがあったとなれば、いろいろと問題があると思いますから、そのところをよろしくお願いします。

(会長)

他に何かありませんか。

(委員)

はい。今の関連になりますが、工事の関係ではありませんけれども、東北新幹線ができて10年以上になるんですかね。検証があっておりました。沿線の駅を持っておられる首長さんたちの意見を聞いておられましたが、人、モノは出て行くけれども、なかなか入ってはこない。ほとんど飛行機や貸し切りバス、新幹線で出て行くものばかりで、乗っては来ないという非常に残念な検証があっておりました。やはり、水俣とか八代さんのようなああいう駅ではなくて、もっと玉名が賑あうような駅づくりを目指してもらいたいと思います。

(新幹線推進課)

おっしゃっておられますのは、今のところ第一歩というスタートで駅前広場から進めさせていただくということでございますので、将来的には駅周辺にいろいろな施設ができればいいと思いますので、そういう形で進めさせていただきたいと思います。お願いします。

(委員)

あの県道はどこに抜けるのですか。菊水のほうは。(図) 右の玉名立花線です。

(新幹線推進課)

まっすぐ行きますと旧三加和町の方に行きます。それからこちらに玉杵名大橋という橋がありまして、まっすぐ行きますと旧三加和町。玉杵名大橋を渡りますと、右側が旧菊水町です。

(委員)

菊池川の左を抜けるわけですか。

(新幹線推進課)

そうですね。こちらが菊池川の右岸側、左岸側にももちろん県道がありますので、平行に走っています。

(委員)

あれもずっと広がるわけですね。

(新幹線推進課)

今、特に橋からこの集落のところは狭い道です。こちらは今、県道で対応していますから、この間は 22 年度末までには県が作り上げるとおしゃっています。

(委員)

あれを通れば高速に入るわけですね。

(新幹線推進課)

そうですね。

(委員)

あの、2 点ほど教えていただきたいのですが。1 点目は、そこの新玉名駅への道の利用者数あたりは、どのように設定されているのか。実際は使ってみないとわからないと思いますが、いろんな意味で、駐車場の数の確保や、観光客とか通勤通学とか。大まかな人数で設定されているとは思いますが、どんな数になっていますか。

(新幹線推進課)

すみません。説明をしておくべき大きなことでしたが、私ども市で推計している数字ですが、一日の乗降客、最大で 3,900 人と考えております。これは、どのようにして推計をしたかということではありますが、今すでに開設している各地域の新幹線の駅、その中で単独駅というのがありまして、在来線と交差していない駅、そちらのいろいろな情報、データをいただいて、その中でいくつかの分析する要因があるのですが、その要因を統計的に処理したしまして、この数字を出しています。ちなみに新玉名駅の場合、お隣熊本と新大牟田の間が約 20 キロずつありますので、駅制限と申しまして駅の守備範囲が、大体半径で 10 キロ。そちらの人口が一つ、それからあとは地域の観光の入り込み客数、それといろいろな製品出荷額と申しまして、物を売っていく力、その三つぐらいの指標に基づいてこの数字

を出しました。この 3,900 人と申しますのは、大体大牟田さんが 4,000 人、それから八代さんが 4,000 人という同じくらいの数字でございます。

(委員)

そのうち観光客はどれくらいですか。

(新幹線推進課)

その内訳までは出ていません。統計式の中に入れて出しておりますので、そこまでは持ってきておりません。ただ、観光客というのは非常にウェイトが高くなっています。

(委員)

物産館の話とかいろいろあるんですけど、やはり実際使ってみないとわかりませんが、今の計画の段階で観光客が多ければ観光客に応じたような販売戦略みたいなものがあると思うんですね。そういうのが早めに情報がある程度わかっておりますらですね。たとえば、止まってじっくりしない人に、乗り継ぎ等で行くような人には生ものは売れないしですね。そういう人には乾物系のお土産を用意したほうがいいとか、そういうのもあるので、商売的な面でも利用できるので情報がありましたらお願いします。それと、もう一点いいですか。駅のレイアウトを見ますと、ちょうど駅の南口の真正面にシンボル緑地というのがあり、駅から出た瞬間にインパクトのある風景になるのかなと思いますが、その中に玉名らしさというのを第一印象として出したらと思います。緑地ですから、木が植えてあると思いますが、その中に、天水としてはみかんの木を植えていただきたい。南国的な雰囲気ですね。ただの木だけでなく果物系を植えていただきたいですね。みかん、荒尾の梨も有名ですし、大野下のソテツもありますので、どこにでもあるような木ではなく、地域性のあるもの玉名らしいものを植えてもらいたい。それと玉名らしいというわけだけでは行きません。やはり城北の駅ですから、菊池の駅でもあるし、鹿本の駅でもあるのでこの観点からすれば、このシンボル緑地は菊池の匂いもしなくてはいけないし、鹿本の匂いもしなくてはいけない。たとえば、鹿本の石の風車とかが建っていれば、鹿本から来る人は自分のところの駅だなと愛着も湧くと思いますので、そういったちょっとしたことがこのシンボル地に活かさないかなと思います。

(新幹線推進課)

そのあたりにつきましては、これから進めていく部分でございますので、ご意見を参考にしながら検討していきたいと思っております。

(会長)

他にございませんか。

(会長)

一ついいでしょうか。さっき言われていた負担金ですが、県が 10 分の 1 それと駅



舎を持つ玉名市が 4 億円ですか、これは J R のほうの負担ですか。駅舎は機構が作るんでしょう。そうすると、駅前周辺とかは全部市でするわけですよね。

(新幹線推進課)

はい、そうです。

(会長)

相当のお金が要りますね。

(新幹線推進課)

駅ができることによって地域が潤いますので、県に負担をするということで約 4 億円弱ですね。それと、あと駅前広場ですが、大体现在試算をしております一番最初の額、これは文化財が思ったより出ていないものですからもう少し安くなりますが、約 38 億円です。その中で文化財が 16 億円です。ですから、文化財が落ちていますので、現実にはもう少し安くなります。

(平野委員)

それは土地代でしょう。

(新幹線推進課)

いいえ、すべてです。4 ヘクタールの用地、それから工事、文化財すべてです。

(平野委員)

それは、上物、建物は別でしょう。

(新幹線推進課)

いいえ、建物も入っています。交流施設も入っています。この範囲まで入っています。

(委員)

その範囲で 38 億ですか。まだ相当かかりますね。

(会長)

それだけ観光客が来てくれるといいのですがね。

(新幹線推進課)

文化財の部分が大分助かりました。

(会長)

他にございませんか。

(委員)

いいですか。今現在の玉名駅に止まる電車の数とかは今後どのようになっていくのでしょうか。

(新幹線推進課)

特急の話ということでしょうか。

今現在何本止まっているかは数字ははっきりとは覚えていませんけれども、博多あるいは熊本間の路線をみますと 1 時間に 2 本は上下とも走っております。J R

九州さんが新幹線も営業しますし、在来線も営業しますが、どちらに何本ずつ走らせるかは、まだ一切言わないんですよ。ただ、新幹線が通って在来線があるよその線の例をみますと新幹線が走れば在来線の特急はなくなります。そういった例が多いようです。夜行寝台とかは別ですが、普通の在来特急はなくなります。本数はまだ JR から示されていませんで、これは開業の直前でないとはっきりいたしません。以上でございます。

【しばらく雑談】

(会長)

それでは新幹線については、よろございますか。

では、新幹線推進課におかれましては、遅くまでありがとうございました。

いい勉強になりました。ありがとうございました。

(新幹線推進課)

また、何かお尋ねになりたいことや、今日は質問をし損ねたという方は、新幹線推進課の方にお電話なりしていただきますと、その都度お答えしたいと思いますのでよろしくお願いします。

(会長)

では、ここで退場していただきます。ありがとうございました。

【拍手】

(会長)

ちょっとトイレ休憩をしましょうか。5分ぐらい。

【休憩】

(会長)

それでは会議を始めます。

2番目の玉名21の星事業の実績報告並びに進捗状況について報告をお願いします。一番目に小天東校区、上古閑宝さがし委員会の報告をお願いいたします。

【上古閑宝探し委員会より報告】

(会長)

3校区説明していただきまして、あとで一括して質問を受けたいと思います。続き

まして玉水校区、玉水・輝く里づくり委員会からお願いします。

【玉水・輝く里づくり委員会より報告】

(会長)

続きまして、小天校区をお願いします。

【草枕ドリーム委員会より報告】

(会長)

ありがとうございました。各校区の委員さん方大変だとは思いますが、計画通り事業も進んでいるということでもありますので安心をしております。今回2回目ですけれども、この協議会委員さんも4月に半分入れ変わられて、新しい委員さん方6名来られておりますので、玉名21の星事業について説明していただくということで計画いたしました。ただいま3校区から事業報告がございましたので、何かご質問がございましたらお願いいたします。

(委員)

小天校区のほうに質問です。菜の花の計画ですが、これは採算ベースに乗せるような事業まで持っていかれる考えでしょうか。それとも、こういうのがあるぞというようなデモンストレーション的な考えでおられるのかということを知りたいのですが。

(草枕ドリーム委員会)

これは、まちづくりですので、われわれは採算ベースということは考えておりませんけれども、さっきも言いましたとおり実際的には雇用がでたり、いろんなことが考えられると思います。よって、経済効果というのは金銭面でも、それなりに広範囲の菜種油の栽培を行えば、それなりの収入はあります。よって経済効果等は見込めるんじゃないかなとは思っています。

(委員)

それに絡みまして、私は認定農業者連絡協議会の代表でもあるんですが、最近、耕作放棄地とか減反率も増えまして、かなりの土地が荒れているんですよ。ただ雑草が生えるよりも、もしそういうのができれば、そういった感じの作付けをやったらどうかと思うんですよ。

(草枕ドリーム委員会)

はい、それももちろん昨年度から計画に入れてまして、今、行っていないのは、水田地帯に作付けできなかった理由というのがありまして、荒地等も花に変えてくれという要望をしましたところ、断られた経緯がありましたので、昨年度は行っておりませんが、今年度からは、そういうことで荒廃地と減反、それとこ

これは裏作で実際的にはやろうと考えていましたので、水田地帯の栽培を、ハウス部会等と協議しまして作付けを行いたいと考えております。

(会長)

この、採算ベースまでいくかという質問だったですけども、この事業自体は3年間市が補助金を出すわけですね。なんでも校区に任せてしたわけですけど、3校区からこういう事業が出てきたわけですね。ですからその3年後は、自分たちで何かは管理はしていかななくては行けないわけです。いわば収入というか、そういうものがあつたほうがいいわけですね。そういう事業をちょっと取り入れていたほうがですね。

(委員)

予算は暫定ですか。

(委員)

1反にどれくらい収入があるのかな。

(草枕ドリーム委員会)

今、反にどれくらいあるかと聞かれましたが、今年度は水田にちょっと栽培したんですけども、バタバタでやったものですから、耕起してからそのまま蒔いたんですよ。それで、水位が悪い、水位が高い水田が多いです。天水町は。よって生育が良くなかったということが原因の一つです。よって、その実績から、今年度からの栽培に際しては畝を造って筋蒔きを行いたい。そうすれば排水もいいので、成長の良い菜種がとるといことです。そういう風に考えております。そうすると、成長すれば反に150キログラムぐらいいは取れるのではないかと思います。うちは100キログラムで設定していますが、よその地域づくりでやっているところでは、反に150キログラムが目安にやっています。うちあたりも最低100キログラムは取りたいという考えを持っていますので、今年度は取れていませんけれども、水田地帯では来年は100キログラムから150キログラムは取りたいと考えています。まあ、そのうち搾油すれば菜種油は30パーセントぐらいいしか取れませんので、150キログラム取れば、40キログラムから50キログラムの菜種油が取れるといことです。

(会長)

村上さん、あの虫の結果は出たのですか。

(草枕ドリーム委員会)

はい、それは今年栽培したところと、まったく植えていないところの5箇所病害虫の調査を行いました。報告書はまだ出ていませんけれども、菜の花が咲いている時期までにはコナジラミ、スリップスはあまり出ていなかったという報告はあつております。それで、今年度はまたハウス部会と協議しますけれども、われわれも病害虫等の検査を行つていきますのでその資料を基にハウス部会と協議を行

いたいと思います。実際にいないという状況が出ていますので、こちらの樋方のほうを主に栽培を行っていきたいと思っています。なぜかといいますと、皆さんも見てわかるように自然に生えている菜の花が山のように生えて埋まっておりません。そういう状況もありましたし、実際、病害虫の調査も行いました。その結果によって、ハウス部会とも協議を行って、できるだけ離れたところで栽培を行いたい。そのためには、樋方地域で栽培を行えればと思っています。

(会長)

自然に生えているのとは違うのですか。

(草枕ドリーム委員会)

品種は違いますけれど、基本的には同じです。菜の花ですから。病害虫が黄色いところに主に集まるということをおられるのであって、自然に生えている菜の花には変わりありません。

(会長)

油も取れるわけですか。

(草枕ドリーム委員会)

いいえ、あれからの油はちょっといい油ではありませんので。

(会長)

取れないのですか。

(草枕ドリーム委員会)

取れないことはないと思いますが、ほとんど取れないと思います。

(委員)

粒が小さすぎるのでしょうか。

(草枕ドリーム委員会)

ほとんど入っていませんね。それに、からし菜というのが多いんです。よって、あれを取れば動いただけ損失が出てくるということだけです。よって、あれは何にも使えないということですね。われわれが、多く栽培している菜種は見てもらうと解りますように、粒が大きくて、いっぱい種が入っております。それは、見てすぐわかります。

(会長)

自然に生えているのも、どこにでもありますが、あまり虫は寄ってないみたいですね。

(草枕ドリーム委員会)

今年度調査をしましたところ、コナジラミもスリップスもあまり出ていません。ただ最後付近でスリップスが出たということは、苺か何かのハウスを開けられたからでたという可能性が十分あります。そういう実際の調査等に基づいて今年度は栽培にこぎつきたいという風に考えています。

(会長)

他に何かございませんか。

(委員)

バイオ燃料というのは、いくらぐらいでできるのですか。

(草枕ドリーム委員会)

バイオ燃料はですね、機械によって若干違ってくるんですよ。ただ、今言われているのは、リッターの経費として65円でできています。ただグリセリンというのが出まして産業廃棄物となれば、若干プラスした金額になります。それで、メーカーによっても変わってきますので一概には言えませんけれども、生産コストとしてはリッターの65円でできます。そしてなお且つそれを利用することによってガソリン税はかかりません。ですからそのまま65円から利幅を乗せて販売できるということです。

(委員)

それを使えるのはトラックですか。

(草枕ドリーム委員会)

ええ、軽油関係の車には全部使えます。

(委員)

それは、問題ないですか。

(草枕ドリーム委員会)

今のところ、実際、天草が使っていますが問題ありません。トラック等にも使っているところがありますけれども、われわれが今考えているのは農業用トラクター、小天校区のですね。それと、青パト隊等が軽油であれば青パト隊の車とか給食センターの車とかに利用できますので、そういう環境に良い油ということで利用したいと考えています。

(会長)

他にありませんか。

(委員)

給食センターの跡地というか、あそこでする計画ですかね。

(草枕ドリーム委員会)

はい、あそこでする計画です。

(委員)

あその耐用年数は大丈夫ですか。前に一度屋根が落ちなかったですかね。

(事務局)

それは修理をしてます。今のところ取り壊す予定はありません。

(委員)

問題なければいいんですよ。

**(草枕ドリーム委員会)**

取り壊されるまでやろうと思っています。それと「くまもと経済4月号」に1ページ半ぐらい、われわれの菜の花の栽培、循環型の社会について記事を書かせております。実際、菜の花が咲いているところを写しております。熊日にも、種まきしているところ、この間の収穫などが載っていました。

**(会長)**

他にないでしょうか。ないようでしたら、2番目の玉名21の星事業についての報告を終わります。それでは3番目のその他に入りまして、公民館の改修について事務局よりお願いします。

**(事務局)**

前回、第1回の地域協議会のときに〇〇委員さんから、図書室の改修の件について、時期と改修箇所を明確にしてほしいというお話がありましたので、ご報告いたします。公民館の担当の方に打ち合わせをしましたところ、夏休みまでに改修してほしいというご要望でしたけれども、どうしても前期の公民館事業の終了が8月末のビーチボールバレー大会ということで、それ以降でないと図書の移動とか事務所の移動とかができないということで、9月中旬以降に改修を始めますということでした。それから図書室の場所ですけれども、前回坂本課長のほうからもお話がありまして、今の事務所側、前教育長室、今の児童図書室のところを空けまして、事務所は向かって左側に、少しスペースを狭くした状態で仕切り、事務所以外を図書室にしまして、本は中のほうに全部入れてしまうということでした。児童図書室のところに窓がないということで、明かりについては、やはり窓の予算というのが今の時点で付いておりませんので、今の事務所の場合側に児童図書室を持ってきます。そちらには窓がありますし、しかも、事務所の横を児童図書室にすると職員のほうも子どもさんだけで来られたときの対応についても、目が届くということで事務所側に設けたいということでした。公民館改修については以上です。

**(委員)**

床はどんなになりますか。

**(事務局)**

下のほうには、じゅうたんとかを敷いて、靴を脱いで利用できるようにするそうです。

**(会長)**

それでは2番目の春まつりについてもお願いします。

**(事務局)**

春まつりの実施の件ですが、この春まつりについては建設経済課のほうの担当となっておりますけれども、そちらのほうから今回の地域協議会で案としてお話をし

ておいてくださいということでした。平成20年度、平成21年3月実施の春まつりについては、予算がついておりますけれども、平成21年度の春まつりですね、今度する春まつり以降について、まず、それをするかしないかというところを地域協議会のほうでお話をしてほしいということでした。急に、するかしないかという話もできませんので、一旦持ち帰っていただいて次回の地域協議会の際に、担当課のほうから来て説明をしますので、それまでに委員さん方の意見とかお気持ちなどを考えておいてほしいということでした。

(会長)

あれは当分の間は続けさせてくれと決めて要望していたと思いますが。

(事務局)

はい、確かに当分の間という意見があったということでしたけれども、一応20年度はつきました。じゃあ21年度はどうしますかということで、どこまで続けてするのかということもありますし、現在、市のほうも補助金に関して検討委員会があっておりますので、全くなくすのか、それともJAさんの単独でされるのか、若しくはまた別の形であるのかということもありますので、そのあたりを委員さん方で考えてほしいということでしたので、ここを出させていただきました。

(副会長)

天水町はこの春まつりをしてますけど、岱明は産業祭をされてますでしょう。それも同じ形で取りやめになるのですか。

(事務局)

産業祭のお金の出所が、どういう形か調べていませんのでわからないのですが。

(副会長)

合併して、どこそこであった事業が少しずつ消えるじゃないですか。地域がみんなで活性化するようにしているのに、これで終わりですよとなくすのは寂しい思いがするんですよ。合併して、どうしてもできないということで全部なくなるのであれば仕方ないことかもしれませんが、よければ残したいと思います。

(事務局)

なくすというような方向の話ではなく、するかしないかということで、このまま続けたいという要望であれば、次回の協議会の際に担当課に言っていただきたいと思います。

(委員)

今、中途半端だからこんな話が出るわけだから、もっと大断的にやったらどうでしょうか。でないと、今は玉名市周辺のまつりは、じゃんじゃんお金を使っているでしょ。補助金とか出して。天水のほうは逆に大きくしていかなくてはいけないんじゃないでしょうか。でないと地域の宝さがしとかいって、町おこしでしている事業と相反するのではないですか。



(会長)

補助金の検討委員会に私も入っていますが、玉名市の俵祭りは、今まで全額市が補助していたわけですよ。それが、200万ほどカットされましたよ。天水のようにこまごまとしている事業も補助金なら少しずつカットされるわけですよ。

(委員)

補助金はカットされるかもしれないけど、そういうのにはもっと方法を考えてやっていかなければいけないでしょう。

(委員)

場所も体育館、グラウンドあたりへ持ってきて、3校区の取り組みの発表を兼ねたり、もっと人間を集めていろいろしないと。

(委員)

天水は夏祭りと春祭りがあるでしょう。それを2大イベントのようにしていくならどうでしょう。昔は、相撲大会とかもあって、どこからでも相撲を取りに来ていましたよね。それもなくなったでしょう。今までは、そういうのも目玉であっていたわけですよ。それがだんだん寂れてきて、そういう楽しみ方もなくなってきているでしょう。逆かもしれないけど、春祭りは大きくしたほうがいいんじゃないでしょうか。要望的に言って。

(委員)

そうですね。大きくすればいいかどうかは別として、やはり納得してもらうには、メリットの部分を検討したうえで、続けてほしいということを協議会で持っていかなければいけないと思うので、そこらへんをみんな考えてきて、持ち寄ってあげることが大事なんじゃないでしょうか。残したいなら残したいと。

(委員)

果樹とか野菜の品評会があって表彰式があつてますが、それも一部だから、他のこともいろいろするならいいと思いますよ。

(委員)

それに向けて全部が話し合つて、一大イベントにしていけばどうでしょうかね。

(委員)

今度担当者が来られるなら、どこでどういう事業があつていて、それに対してどういう補助をしているかの参考資料を持ってきてもらってください。

(事務局)

わかりました。担当者に次回の協議会で報告するよう伝えます。

(委員)

去年の大俵まつりに実行委員として中に入ったんですが、すごい予算がついているわけですよ。派手なポスターでもじゃんじゃん作つていらっしゃるし、それでも地域の方たちはあまり動いているように見えないんですよ。それにはびっくり

しました。イベント業者にお願いで。

(会長)

市は全部委託のようですね。

(委員)

確認ですが、このまつりに関しては、しないならしなくていいですよという話ですか、それともするなら予算をつけるという話ですか。

(委員)

そうではないような気がします。やめてくださいということじゃないですか。

(委員)

とにかくすべての事業が縮小又は、市内中心部に持っていくような考えに思われます。

(会長)

いや、天水は天水で特色のある祭りだから絶対しますといえば、やめろとはいえないでしょう。

(委員)

でしたら、もう少し内容を充実させていくとか考えてみたらどうでしょうか。地方ですることは削減して中央ばかりでやってもらうのも困りますからね。

(会長)

小田委員、俵まつりの実行委員に入っていたのですか。

(委員)

実行委員には、食の名人さんで入ったんですよ。そしたらずっと実行委員で来てくださいといわれるものですから。

(会長)

最初は、1千万円ぐらいあったんですよ。実行委員会に市が渡すんですよ。それでしなさいということはどうでしょうか。

(副会長)

そのお金がどこに行っているかわからないですよ。

(会長)

たしか200万円ぐらい、今年は下がったですよ。

(副会長)

お客さんもそんなに多くはなかったし、一定の人が出ているという感じでした。

(委員)

玉名のパンフレットに俵まつりは入っているからですね。大々的に。菖蒲祭りと一緒だね。

(会長)

実行委員会とか商工会議所にお金を出してもらえばいいのにね。私たちだって、

市から1千万円もらうなら、どんな大きい祭だってする自信はありますよ。

(委員)

そりゃあ、お金しだいでは、ある程度の事業はできますからね。

(委員)

玉名の花火も、寄附を募っていますよね。そしたらしくちやいけないでしょう。

(会長)

花火は商工会が主でしているんでしょう。

(委員)

そうです。だから金集めが大変です。

(会長)

だから、俵祭りもそんなに努力したらいいですよ。

この議題については、いつまで考えておいたらいいのですか。

(事務局)

そうですね、秋の地域協議会ということで。

21年3月の春祭りは実施することが決まっていますので、12月ぐらいから予算編成が始まりますので、担当課としては、その前には地域協議会で審議してもらいたいと言われていました。

(会長)

秋までには決めなくてはいけないですね。

(委員)

するのであれば、地域として陳情すればいいのではないのでしょうか。

(委員)

はい、辞めますなどといっていたら、全部辞めてしまわなくてはいけなくなりますよ。岱明、横島、天水の行事は何もなくなってしまいますよ。特色のあるものを創ったり、残したりしていかないといけませんね。

(委員)

私は、最初にここで、春まつりの存続について審議したときには、統合したほうがいいんじゃないかと思っていたんですよ。しかし、今年の春祭りに行ったら、苗木の販売の奥でいろいろなものが売られたり、一生懸命働いてらっしゃるのを見て、すばらしいなと思いました。そこで、このまつりは残すべきだと思ったんですよ。だから、予算をもらうにはどうしたらいいかというのを考えたときに、天水オリジナルではあるけれど、外から人を呼び込まないと確かに公の金は、出せなくなると思います。ですから、巻き込み方をもう少し工夫して、21年度の春祭りでアピールしないといけないと思います。

(委員)

チラシ等でも天水だけ配っているのを、玉名市いっぱい配るとかすればいいんじ

やないですか。

(委員)

子どもたちを出すことで、おじいちゃん、おばあちゃん、家族が集まってきているんですよ。

(委員)

場所も考えないといけないですね。駐車場とかもですね。

(委員)

体育館あたりを考えてもいいでしょう。体育館下に植木を置いて、体育館で物産の展示販売等をして、グラウンド等を駐車場にして誘導したりですね。

(委員)

大橋あたりに、天水春まつりの看板を出すとかですね。

(会長)

J Aは単独でもしたいと思ってるから実行委員さん方は、ちゃんと話し合いをして行わないといけないですね。

(委員)

今、イベントをするにしても、ないお金を工面したりして人間が動いて盛り上げていますね。

(委員)

だから、21の星事業みたいにお金のあるところを巻き込んでしていく方法もあるのではないかな。

(委員)

さっき、誰かが言っておられましたが玉水のイベントを玉水だけではなく、小天やその他にもお知らせし、小天のイベントも同じようにして、3校区の実績発表の場にしてもいいのではないのでしょうか。

ひまわりの種の情報なども、あればほしいなと思って、それが広がっていくですね。

(委員)

21の星事業が始まったときは、どうなっていくのかなと思っていましたが、今日の実績報告を聞いて、よく頑張っているなあと感心しました。ですから、このように計画を立てていけば、春祭りも充実し予算の確保もしやすくなるのではないかと思います。

(会長)

春祭りについては、秋までに結論を出さなくてはならないということですので委員さん方いろいろ考えておいて、いい案を出してください。

それでは、時間もだいぶ過ぎましたので、これで第2回の地域協議会を終了します。お疲れ様でした。

12 会議録作成者

天水総合支所 総務振興課 技術主任 中川由美

13 会議録署名人署名欄

--	--

14 問い合わせ先

玉名市天水総合支所 総務振興課 TEL0968-82-3111